

非同期型多人数動画メッセージングシステムの一検討

A study of an asynchronous multi-party video messaging system

学籍番号：201721687

氏名：原田 倫行

Harada Tomoyuki

非同期映像会話は、ユーザーがいつでも好きなときにメッセージを作成および視聴できるため、コミュニケーションのための柔軟な方法を提供することが可能である。しかし非同期映像会話では通常の映像会話とは異なり、会話相手が自分の送信したメッセージに対してどのようなリアクションを起こしているかを感じることができない。既存研究では2人のユーザーが相手のリアクションを視聴しながらコミュニケーションを行うことができるシステムが開発され評価が行われたが、3人以上のユーザーがコミュニケーションを行う際の評価は行われていない。そこで本研究では、3人のユーザーが相手のリアクションを視聴しながらコミュニケーションを行うことができる非同期型多人数動画メッセージングシステムを開発し、3人以上のユーザーが参加するリアクション付き非同期映像会話について評価を行った。

本システムでは、ビデオメッセージを見ているときのメッセージ受信者のリアクションを記録し、メッセージ送信者に自動的に送り返して、メッセージに対する感情などのリアクションを感じ取ることができるようになっている。本研究では、メッセージのやり取りの間に受信者のリアクションが表示されることで、どのように会話相手のエンゲージメントを高めることができるか、またシステムを使用するユーザーが3人以上になることによって生じる他人のリアクションを眺める時間の増加がシステムのユーザビリティにどのような影響を与えるかを評価することを主な目的としている。

被験者内実験を用いたシステム評価の結果、本研究で提案したリアクション付き多人数動画メッセージングシステムは、リアクションがないときと比較して、より良いユーザーエクスペリエンスを提供することが可能で、リアクションを視聴する際の時間の増加はユーザビリティの悪化は招かないことが示された。

研究指導教員：井上 智雄

副研究指導教員：真榮城 哲也